



学校だより

令和8年4月27日（月）
新潟市立曾野木中学校

若葉が目に眩しくうつる季節となりました。4月7日（火）には、入学式を行い、74名の新生は喜びと希望を胸に中学生としての新しい門出の第一歩を踏み出しました。いよいよ曾野木中学校の令和8年度がスタートしました。

今年度も保護者・地域の皆さんとともに子どもたちのためにより良い教育を行ってまいりますので、引き続き曾野木中学校の教育にご理解とご協力をお願いいたします。

❀❀ 「入学式 式辞」 ❀❀

新潟市立曾野木中学校長 橋本 一幸

〈前略〉

曾野木中学校は、「自立貢献」の理念のもと、「自主・協同・自律」を教育目標に掲げ、自分のよさを伸ばし、未来を切り開く力を育てる学校です。そして、仲間との「かかわり・つながり」を大切にしながら、さまざまなことに「挑戦」していく学校です。



ある先輩の話をしします。その先輩は、入学したばかりのころ、「自分から発表するのが苦手で、できれば当てられたくない」と話していました。しかし、ある授業で「一度だけ、自分から手を挙げてみよう」と決め、勇気を出して発言しました。うまく言えたかどうかは分からなかったそうですが、そのとき、周りの仲間がうなずいてくれたことが、とてもうれしかったと言っていました。その経験をきっかけに、その先輩は少しずつ自分から行動できるようになり、三年生のときには学級を中心となって活躍していました。この先輩の成長のきっかけは、特別なことではありません。「自分で考え、一歩踏み出したこと」——それだけです。

そんな成長を新生の皆さんにも経験してほしいので、これからの生活で大切にしてほしいことを、三つお話しします。

一つ目は、「一歩踏み出すこと」です。

中学校では、初めてのことがたくさんあります。やってみたいと思っても、不安で動けないこともあるでしょう。そんなときこそ、小さくてもよいので一歩を踏み出してみてください。うまくいかないことがあっても、その一歩が次につながります。また、中学校では、学習や学校行事、部活動など、さまざまな活動が皆さんを待っています。どれも、自分を大きく成長させる大切な機会です。ぜひ、積極的に取り組んでほしいと思います。さらに、今年度からは、部活動の地域展開を進める中で、地域クラブの活動や学習支援なども予定しています。自分の「やりたい」や「なりたい自分」をかなえる活動に、意欲的に参加し、自らの可能性を広げていってください。

二つ目は、「人を思いやること」です。

学校生活は、仲間とともに過ごす毎日です。うれしいときも、困ったときも、仲間の存在が皆さんを支えてくれます。自分とちがう考えをもつ人の気持ちにも目を向け、相手の立場に立って行動することを大切にしてください。思いやりのある関わりが、温かい学校をつくれます。

三つ目は、「自分で決めること」です。

中学校生活では、どうするかを自分で考え、選ぶ場面が増えていきます。周りに流されるのではなく、自分はどうしたいのかを考え、自分で決めることが大切です。そして、自分で決めたことには責任をもち、最後までやり抜いてください。その積み重ねが、皆さんの自信につながっていきます。

「一步を踏み出し、人を思いやり、自分で決めて進むことが、未来を切り開く力になります。」

この三つを大切にして三年間を過ごすことで、皆さんは、自分で考え、行動し、自分の進む道を選ぶ力を身に付けていきます。

<後略>

❀❀ 「歓迎の言葉」 ❀❀

生徒会長 渡辺 颯

<前略>

新しい制服を身にまとい、中学生としての第一步を踏み出した皆さんは、今どんな気持ちでしょうか。きっとこれから始まる新しい学校生活に期待を膨らませている一方で不安や緊張でいっぱいなことでしょう。そんな皆さんに、これからの中学校生活で大切にしてほしいことをいくつかお話ししようと思います。

まず一つ目は、「協力」です。これから皆さんは学校生活の中で、小学校の時には経験したことがないことなどに戸惑うことが多くあると思います。そんな時に大切なことが協力です。協力することで、一人では乗り越えられないことが乗り越えられたり、共に乗り越えることで仲がより深まったりなどいいことがたくさんあります。実際に私も行事の時に、周りの人たちと協力したことで、あまり話したことがない人とも仲良くなれたり、他学年の人との関わりができたりしました。周りにはこれから3年間を共に過ごす仲間です。多くの人と関わりをつくり、たくさんの思い出を作るためにも「協力」することを大切にして日々過ごしてみましょう。私たち先輩も皆さんが充実した中学校生活を送れるよう協力してサポートしていきます。



二つ目は「挑戦」です。中学校の3年間は皆さんが思っている以上にあつという間です。この短い3年間はより良いものにしていくためにはたくさん挑戦していくことが大切です。失敗することに苦手意識があったり、挑戦するという選択に踏み出すことにためらいがある人もいます。私も新しいことに一步踏み出す時には、緊張したり、ためらったりしてしまいます。ですが、やってみるとそれ以上にやってよかったという満足感があります。もちろんその中には失敗もありますが、それも含めて全部自分の経験になります。授業で手を挙げてみることや大きな声で挨拶をしてみるとこなどの小さいことから、行事のリーダーをやってみることなどの大きいことまで、ぜひ色々な挑戦をしてみてください。きっと挑戦してみてもよかったと感じるはずです。

<中略>

さあ、これから皆さんの中学校生活が始まります。出身小学校の違いがあつたとしても中学校生活のスタートラインはみんな同じ、今この瞬間です。私も生徒会長として、そして一人の先輩として、新入生の皆さんを全力でサポートしていきます。

最後に中学校の3年間は本当にあつという間です。多くのことに挑戦し、実りのある3年間にしてください。そしてたくさんの仲間と協力し合い、より良い学年、学校を共に創っていきましょう。

❀ ❀ 「誓いの言葉」 ❀ ❀

新入生代表 吉田 真悠

私たち新入生74名は今日、曾野木中学校の一員となれたこと、新入生一同、心から嬉しく思います。そして、ここまでの準備に携わってくれた皆さんに感謝します。

今日、新しい世界に私たちは足を踏み入れました。新しい仲間がいる素敵な世界に、今、降り立ったのです。小学校で学んだたくさんの知識を活かし、新しい勉強に積極的に挑戦していきます。新しい環境で、新しいことに、新しい仲間たちと、挑戦していきます。

一方で、新しいことに挑戦する上で慣れないことも時にはあると思います。悩んだり、迷ったりするかもしれませんが。そんな時は、新しく出会った仲間と協力し、時には先生方、先輩方からもアドバイスをいただき、助け合いながら乗り越えていきたいです。先生方、先輩方、私たちの新しい3年間、サポートやアドバイスなどの協力、どうぞよろしくをお願いします。

最後に、私たちは「自主、協同、自律」という教育目標に向かって、精いっぱい努力するとともに、曾野木中学校の生徒としての誇りをもって中学校生活を送っていくことを誓います。



❀ ❀ 生徒会入会式「お礼の言葉」 ❀ ❀

新入生代表 野地 詩

二、三年生の皆さん、今日は私たち一年生のために生徒会活動の説明など様々なことを教えてくださいありがとうございました。皆さんがわかりやすく丁寧に教えてくださったおかげで、中学校のことがよく分かり、生徒会や委員会などみんなと協力して積極的に取り組もうと思いました。

中学校では、小学校では行わなかった部活動や委員会活動、学校行事などがたくさんあると知り、これからの中学校生活がとても楽しみになりました。また、一つ一つのことに責任をもち、積極的に取り組んでいくことで、中学校生活をより充実させることができると思いました。

中学校生活で、私が一番頑張りたいと思うことは勉強です。小学校より学習の内容が難しく、授業の進むスピードが速くなるので、予習、復習を忘れずに行おうと思います。まだ不安や分からないことがあり、時には失敗したりご迷惑をおかけしたりすることがあると思います。そんなときには、先生方や先輩方のお力をお借りすることもあるかもしれませんが、どうぞよろしくをお願いします。

今日は、私たちのために生徒会入会式を開いてくださり、本当にありがとうございました。先生方、先輩方、これからいろいろな場面でお世話になるとは思いますが、どうぞよろしくをお願いします。



< 転出職員 > ～お世話になりました～

教 頭	小田 久美子	新潟市立臼井中学校へ（校長昇任）
教 諭	平松 広幸	新潟市立臼井中学校へ
教 諭	神田 学	新潟市立東新潟中学校へ
教 諭	志藤 浩仁	新潟市立万代高等学校へ
教 諭	稲田 夕貴	新潟市立巻西中学校へ
用 務 員	吉原 英昌	新潟市立小合東小学校へ
図書館司書	小林 清美	新潟市立亀田西中学校へ
教員業務支援員	渡邊 和子	新潟市立新津第五中学校へ
特別支援教育支援員	鍋谷 成江	新潟市立関屋中学校へ



< 転入職員 > ～よろしくお願ひします～

教 頭	大滝 仁	新潟市立金津中学校より
教 諭	野口 恵美	三条市立第一中学校より
教 諭	大霜 貴由	新潟市立東新潟中学校より
教 諭	清水 美咲	新潟市立黒埼中学校より
用 務 員	酒井 宣通	(株) イドムより
図書館司書	渋谷 知美	新潟市立矢代田小学校より
教員業務支援員	村山 真紀	新潟市立東新潟中学校より
特別支援教育支援員	長谷川 晶子	新潟市立五十嵐小学校より
特別支援教育支援員	小野澤由里香	新規採用

